

消費拡大に向けたPR活動

～全国各地へりんごを寄贈～

当JAでは、りんごの消費拡大に向けたPR活動として、全国各地の青果会社を通じて、自治体・小学校・保育園などにりんごを寄贈しています。

例年は、組合長と常勤らが東京都や九州地方の小学校などを訪問して贈呈式を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、りんごの寄贈のみとなりました。

JAでは、今後もりんご消費拡大につなげるためのPR活動を展開していきます。



全国から届いたお礼の手紙

息を合わせて勢い良く

～黒石地区青年部餅作り～

黒石地区青年部（工藤大輔部長）は12月27日、浅瀬石支店で正月用の餅作りを行いました。部員約20人が参加し、部員が栽培したもち米約240kgで餅を作り、申込者へ販売しました。

工藤部長は「今年は、新型コロナウイルスが発生したことで行うか悩んだが、毎年楽しみにしている皆さんのために感染対策を徹底して行った。コロナ禍ではあるが、青年部が作った餅で良い正月を過ごしてほしい」と話しました。



餅をつく青年部員

趣味通じて交流

～JAカルチャー講座開講～

12月上旬から「JAカルチャー講座」を開講しました。今期は8回、6回、4回コースで健康体操や着付け、実用書道など全14講座を用意し、165人が受講します。受講者は、令和3年3月まで趣味を通じて交流を楽しみます。



料理



書道

きれいな花でおしゃれな作品を

～フラワーアレンジメント講習会～

12月下旬、各地でJAフラワーアレンジメント講習会を開きました。

12月26日、尾上基幹支店で行った講習会では、青森市にある花屋「FLOWERPRODUCE花木」の佐々木小夜さんが講師を務め、参加者はキクやバラ、スイートピーなどの茎をはさみで切り、土台となるオアシスへ挿し、作品を完成させました。

参加者は「フラワーアレンジメント講習会は毎年楽しみにしている。玄関に飾り、お客様をお迎えしたい」と笑顔で話しました。



佐々木さんの説明を聞く参加者